

第5回清瀬市商工振興計画策定委員会 議事要旨

【開催日時等】

日時：令和7年7月7日（月）午後3時から午後4時

場所：清瀬市役所3階 会見室

【出席委員】

内野委員、赤坂委員、里見委員、山崎委員、野島委員、松村委員、八代田委員、森田委員、根岸委員、小寺委員、前川委員、大野委員、戸野委員

事務局：産業振興課長、産業振興課長補佐、商工係長、商工係主任

【配布資料】

資料1 清瀬市商工振興計画策定スケジュール

資料2 清瀬市商工振興計画素案に係る庁内PTおよび委員からの意見について

資料3 清瀬市商工振興計画素案に係る事務局追記箇所について

資料4 第2次清瀬市商工振興計画素案（見え消し）

【議事】

1. 開会

2. 議題

（1）清瀬市商工振興計画策定スケジュールについて

資料1に基づき、事務局より今後の策定スケジュールを説明した。次回委員会までに素案について再度意見をいただき、第6回の庁内PT及び策定委員会を経て、計画を固める。その後、パブリックコメントを行い、市長へ報告する。

（2）第5回清瀬市商工振興計画庁内PTの開催について（報告）

令和7年6月19日に開催された庁内PTについて報告した。

PT会議内で上位計画である「第5次清瀬市長期総合計画」について報告があった。基本構想・基本計画・実行計画の3層構造を予定している。また、商工振興計画と同様、秋頃にパブリックコメントを実施する予定。

（3）庁内PTおよび各委員からの計画素案に関する意見について

資料2に基づき、素案に対するPTメンバー及び各委員からのご意見及びご意見に対する事務局の見解について説明した。

(委員からの意見・質疑)

委員：資料２の P. 8にあるローリング作業と PDCA サイクルについて説明をお願いしたい。

事務局：ローリング作業とは、実行計画で目標値をどれくらい達成したか・実施できているかを確認する作業のことを言う。長期総合計画実行計画のローリング作業の際、商工振興計画も確認することになる。

PDCA サイクルとは P=Plan (計画)、D=Do (実行)、C=Check (評価)、A=Action (改善) の頭文字で、業務改善に関する手法を表している。

委員長：ローリング作業は誰が担うのか。

事務局：基本は所管課である産業振興課が行うが、場を設けて商店街等と確認作業を行いたいと考えている。

委員長：長期総合計画でも街の賑わいについて入れた方が良いという意見が出ていた。パブリックコメント前にもう一度本委員会で検討する場はあるか。

事務局：次回の策定委員会でパブリックコメント前に検討いただく事になる。

(４) 清瀬市商工振興計画素案について(事務局追記等)

資料３、４に基づき、事務局より素案の追記および修正箇所を説明した。

(委員からの意見・質疑)

委員：素案の P. 51にある事業所数の目標値が現状と比較してプラス 14 件というのは、廃業と創業の関係から考えても低い数値ではないか。

事務局：過去の推移を踏まえた数値で出させていただいた。

委員：過去の数値を参考にするのは良いと思うが、これから取り組む計画であれば、数値はもう少し高くても良いのではないか。

委員：未来構想ビジョンでも駅周辺の発展について検討しているので、合計 1,800 件位の数値を出しても良いと思う。若手事業者から見ると低い数値に見えてしまう。「清瀬市内で起業したい」と思ってもらうには、

もう少し高い数値がある方が良い。

事務局：事業所数について修正する。

委員長：シャッター通りを見ると寂しくなる。そこをどうにか活用できないかと思う。中央公園が完成すれば、新たな集客が見込めるのではないか。

委員：長期総合計画等にある清瀬市の人口推移は減少するとされているが、整合性はどうか。人口を増やす方向で検討するのか。

事務局：清瀬市の人口推計は減少する見込みだが、施策によって交流人口や定住人口を増やしつつ、事業所を増やす方向で検討したい。

委員長：人口減少を楽観視はできないが、外からの交流人口を増やしていく施策により人口減のペースを減らし、事業所を増やす方向で検討する必要がある。

3. その他

次回開催日：令和7年8月20日（水）午前10時
清瀬市役所3階 会見室